

ウミアイサ

Mergus serrator Linnaeus

カモ目カモ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

なし

選定理由

個体数が少なく、落ち着いて生息できる環境が少なくなっている。

形態

全長48～66cm。雄の冬羽は光沢のある緑黒色。首に太い白帯があって、次に黒斑の混じった褐色帯がある。それ以下の下面は白色で、脇は細かい白黒の波斑。背は黒色で、翼は大部分が白色。嘴、足、虹彩が赤色。雌の頭部は褐色で、他は灰褐色。雄のエクリプス羽は雌に似るが、虹彩の赤みが強い。

国内分布

冬鳥として全国的に渡来するが、個体数は少ない。

県内分布

羽咋市、志賀町、輪島市などの海岸に少数が渡来する。他の地域では観察例も少ない。

生態

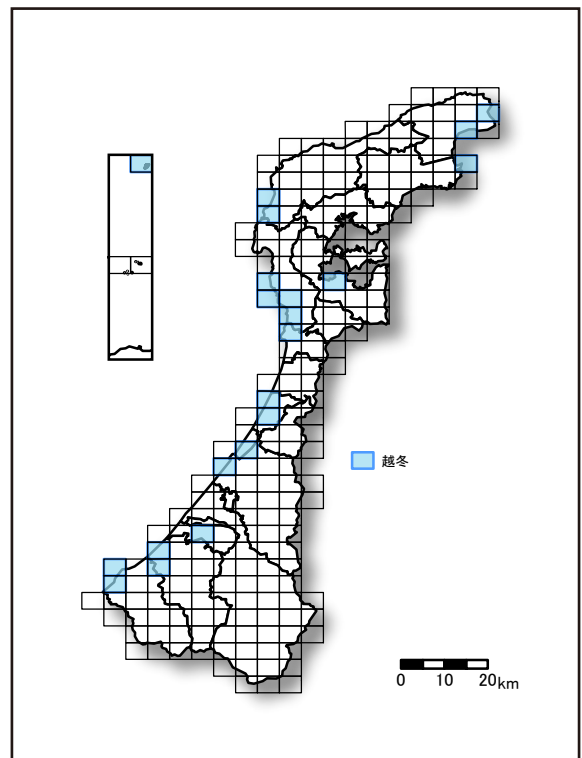
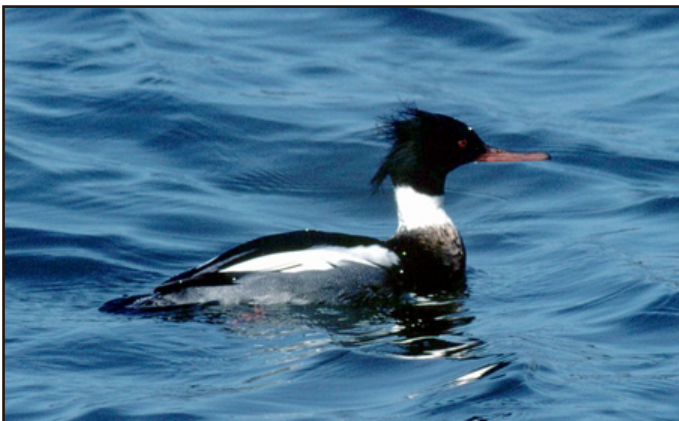
越冬中は沿岸や入り江で見られるが、沿岸の湖や池に飛来することもある。単独から小群でいることが多いが、大きな群で過ごすこともある。昼間によく潜って採食する。きわめて魚食性の強いカモである。

生息地の条件

人が近づかない沿岸や湾の入り口などで、魚など餌が豊富な場所。

生存の危機

比較的警戒心が強いので、人の影響、特にハンターによる間接的な影響が大きい。(A)



県内の分布